

## 7.4 共同利用研究会

### 7.4.1 霊長類の先進的遺伝子改変モデルを用いた神経ネットワークの構造と機能の解明

日時：令和3年3月5日（金）13：30～3月6日（土）12：00

場所：Zoomによるオンライン開催（参加人数：60名）

研究会世話役：高田昌彦

令和2年度に開始された共同利用・共同研究プロジェクトの計画研究「霊長類の先進的遺伝子改変モデルを用いた神経ネットワークの構造と機能の解明」では、多様なウイルスベクターシステムや光遺伝学・化学遺伝学的技術により作出した先進的遺伝子改変モデルを用いて、マカクザルやマーモセットなどの霊長類動物における神経ネットワークの構造と機能の解明に迫ることを目指している。今回の研究会では、以下のプログラムに従って、高次脳機能や精神・神経疾患に関する多様な研究を意欲的に展開している研究所内外の中堅・若手研究者が一堂に会し、最新の研究成果の紹介と活発な情報交換、意見交換をおこなった。

<プログラム>

3月5日（金）

13：30～13：40 高田 昌彦 開会挨拶

13：40～14：15 田中 真樹 北海道大学医学研究院  
「皮質下信号による運動タイミングの調節機構」

14：15～14：50 筒井 健一郎 東北大学生命科学研究科  
「内側前頭皮質の情動調節機能と解剖学」

14：50～15：25 小林 和人 福島県立医科大学  
「マーモセット視床線条体路の行動生理機能」

15：25～15：45 \*\*\*ブレイク\*\*\*

15：45～16：20 松本 正幸 筑波大学医学医療系生命医科学域  
「経済学的意思決定時の腹側線条体・中脳ドーパミンニューロン・眼窩前頭皮質の神経活動ダイナミクス」

16：20～16：55 南本 敬史 量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究  
「Dopamine, Serotonin and Motivation」

16：55～17：30 野々村 聡 京都大学霊長類研究所  
「目標志向行動に関わる背内側・背外側線条体の間接路の神経活動特性」

18：00～20：00 情報交換会

3月6日（土）

9：30～10：05 西村 幸男 東京都医学総合研究所  
「小脳核による筋活動の制御機構」

10：05～10：40 宇賀 貴紀 山梨大学医学部  
「柔軟な判断を可能にする感覚-判断機能結合の研究」

10：40～11：15 二宮 太平 自然科学研究機構生理学研究所  
「前頭葉における他者動作情報処理の機能解析」

11：15～11：50 稲垣 未来男 大阪大学生命機能研究科  
「扁桃体における顔表情の素早い視覚処理：解剖学と生理学による検討」

11：50～12：00 高田 昌彦 閉会挨拶

（文責：高田 昌彦）